

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397600012
事業所名	グループホーム 第二あま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームと地域との交流や連携が、ますます盛況になってきている。市の「福祉祭り」や「夢コンサート」には、利用者と職員が参加するだけでなく、利用者の作品展示がある。系列の特養に定期的に来る「移動販売店」（地域の商店が運営）に出かけ、買い物を楽しむ利用者が多い。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 系列のグループホームと合同（市が容認）で運営推進会議を開催しており、市の職員、地域代表、複数の家族、知見者等が集まっている。活発な意見交換の様子が、議事録の記述から読み取れる。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の高齢福祉課の主査と主事の2名が運営推進会議のメンバーとして名を連ね、ほぼ毎回の出席がある。会議では、行政としての立場で、有益な助言やアドバイスをを行っている。市の主催する「敬老会」が、今年度から「長寿を祝う会」と名を変えて開催された。車いすを使用しない80歳以上の利用者7名が「祝う会」に参加した。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホームに来れない家族のために、ホームだより（「GH第2あま恵寿荘日記」）とともに、毎月利用者の写真を家族にあてて送付している。「家では、あんな笑顔は見たことがなかった」とは、写真を手にした家族の言である。運営推進会議でも、家族から「白鵬関を呼べないか?」、「入居して元気になった」、「病院が母体なので安心」等、様々な意見が出ている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	×	○	○	○	○	○	◎	